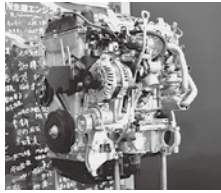


2024年(令和6年)
3月1日 金曜日
第1939号

京都自動車新聞



京ト協交通対策委 開催増やす
近畿共済 京都地域次期役員
特定整備 措置終了まで1カ月
KCAA 大峰統括部長インタビュー
三菱自動車 京都製作所80周年

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町51-5(京都自動車会館内) 電話(075)672-0552 ファクス(075)682-0205 メール access@kyotojidosha-np.jp

現体制支持で役員続投へ

京自販 専務理事には山岡氏が就任
自販連京都

京都府自動車販売店協会・自販連京都府支部(澤井孝之会長・支部長)は2月15日、リーガロイヤルホテル京都で定時総会を開き、提出された全議案を原案通り承認。来年度はカーボンニュートラル(CN)の実現やデジタルトランスフォーメーション(DX)進展に向けた施策に取り組み。協会・支部の役員は全メンバーが続投。新専務理事に山岡宏氏を選任した。(関連記事6面)



総会であいさつする澤井会長(左から3番目)

冒頭、澤井会長は「昨年の自動車業界では大手中古車販売店の保険金不正請求やメーカーの認証不正といった問題が相次ぎ発生した。われわれディーラーは改めてコンプライアンス順守の徹底やユーザーからの信頼回復に努めなければならぬ」と訴えた。

新車販売状況については「半導体不足が解消に向かい、メーカーの供給体制が改善傾向にあり、軽自動車を含む新車販売台数は4年ぶりの300万台を超え、回復基調だった」としながらも、「それでも、コロナ流行

前の9割にとどまった」と課題を指摘した。

2年目を迎えた新規ワンストップサービス(OS S)に関しては「昨年には利用率が52%となり、目標数値の50%を前倒しで達成できた」と振り返るとともに、「24年度は最低でも70%超えの利用率を目指したい。そのため、OS Sのメリットが感じられ

握る施策をスタートさせた。改めてみなさまのご理解・ご協力をお願いしたい」と呼びかけた。

総会議案は▽2023年度事業報告書並びに収支決算報告書▽24年度事業計画書案並びに収支予算書案▽役員の選任の3議案。真

事業報告に関しては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、さまざまな活動の再開が本格化した一年になったと報告した。

コンプライアンスの順守に向けた各種イベントや合同中古車フェア、輸入車ディーラーの合同試走会などを開催した。

10月の中古車支払総額表示施行に関連し、中古車事業強化に向けた研究調査や情報交換の取り組みなども実施。

CN実現に向け、会員企業が事業活動で産出する温室効果ガスを把握する施策もスタートした。

23年度はCN実現やD

Xの進展など、自動車業界を取り巻く課題解決に向けた事業を推進する。役員選任では全メンバーが続投することを確認。

2月15日付けで小林寛二氏が専務理事を退任し、新専務理事に山岡氏を選任した。小林氏は3月31日まで顧問に就任する。

京都から17人受賞

近運局 自動車功労表彰

近畿運輸局は2月16日、自動車関係功労者表彰式を開き、業界発展に長年寄与した経営者、従業員らをたたえた。京都からは自動車交通関係(貨物運送、バス、関係団体)6人、自動車技術安全全部関係(販売、整備、関連)11人が表彰。(受賞者は7面に掲載)

表彰式は部門ごとに分けて2部制で実施。日笠弥三郎局長は「皆さんは若手の目標となり、次世代を担う人材育成をお願い



表彰状を受け取る京都三菱の小林康社長

追跡データベース

—日銀京都支店編—

京滋の景気、緩やかに改善

10月 自動車14カ月連続増

10月の京滋地区の景気は改善トレンドが順調に推移し、持ち直しが進む。個人消費や設備投資、観光分野などの改善傾向が強まり、ゆるやかな回復が続く。

前回調査との比較では指標の変化はほぼ横ばいにあるが、各指標は多くが堅調に推移している。日本銀行京都支店が12月に発表した。

支店によれば、個人指標はほとんどの指標で対前年を上回る。主要小売販売額(11

指標	前年比(増率)
主要小売販売額(10月)	6.2%
京都地区の百貨店売上高(11月)	13.0%
スーパー販売額(10月)	1.4%
家電販売額(10月)	▲6.1%
乗用車新車登録台数(11月)	14.6%
京都市主要ホテル宿泊客数(10月)	46.5%
管内短観の設備投資額(12月)	9.3%
京都府の新設住宅着工戸数(10月)	▲17.4%
京都府の公共工事請負金額(11月)	126.6%
京都府の鉱工業生産指数(10月)	2.7%(前月比)
京都府の有効求人倍率(10月)	-0.01%(前月比)
京都府の雇用保険被保険者数(10月)	0.1%
京都市の消費者物価指数(11月)	2.6%
貸出(9月)	4.6%

月は前年比6・2%増、百貨店販売額は13・0%増、スーパーは1・4%増、家電販売額は▲6・1%減、乗用車新車登録台数は14・6%増、京都市主要ホテル宿泊客数は46・5%増、管内短観の設備投資額は9・3%増、京都府の新設住宅着工戸数は▲17・4%減、京都府の公共工事請負金額は126・6%増、京都府の鉱工業生産指数は2・7%(前月比)増、京都府の有効求人倍率は-0・01%(前月比)減、京都府の雇用保険被保険者数は0・1%増、京都市の消費者物価指数は2・6%増、貸出は4・6%増。

新車登録台数(11月)が14・6%増と好調で、1カ月連続の回復が続く。一方、家電販売額だけは6・1%減という結果になった。

観光分野は市内の主要ホテルの宿泊客数が46・5%増と順調に推移している。

設備投資は、製造業・非製造業ともに前年度を上回る見通し。

住宅投資は17・4%減と弱めの動きが見られ

公共投資は工事請負金額(11月)が126・6%増となった。生産分野は2・7%増と横ばい圏内で推移。汎用・生産用・業務用機械は高水準を維持している。化学は横ばいとなった。和装関連は低水準が続く。

雇用・所得環境はゆるやかに改善し、物価は食料などの値上がりで増加した。



株式会社 スズキ自販京都

本社/京都府向日市寺戸町寺田50-2 ☎075-924-6600

アリーナ京都桂川 075-924-2600
アリーナ吉祥院 075-681-6150
アリーナ高野 075-701-7131
アリーナ西陣 075-415-0234
右京店 075-322-4011
アリーナ山科 075-574-0101

アリーナ伏見深草 075-641-1101
アリーナ伏見新堀川 075-602-8001
アリーナ亀岡 0771-25-3891
アリーナ宇治 0774-22-9129
アリーナ城陽 0774-55-7455
アリーナ福知山岩井 0773-22-8712

舞鶴店 0773-75-4330
峰山店 0772-62-5075

SUZUKI